

ご支援に心より御礼申し上げます。

協賛（スポンサー）

法人

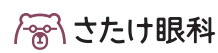


八潮まるやま眼科

Johnson&Johnson



河田眼科医院



医療法人社団正勢会 市川なかじま眼科／医療法人社団 後藤眼科医院／医療法人健究社 スマイル眼科クリニック
株式会社モリア・ジャパン／株式会社オグラ／医療法人社団藤和会 加藤眼科／千寿製薬株式会社／株式会社イナミ
大塚製薬株式会社／医療法人社団 玉城眼科／興和株式会社／日本アルコン株式会社／ロート製薬株式会社
株式会社ホワイトメディカル／HOYA株式会社／医療法人社団瑤哲会 島崎眼科／株式会社コーナン・メディカル
セントラル眼科クリニック／医療法人如水会 鈴木眼科吉小路／株式会社メニコン／コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社（順不同）

個人

飯田 友保 猪俣 俊晴 毛塚 剛司（毛塚眼科医院） 須貝 茂夫 高村 悦子 富田 康輔 坪田 一男 森 亮介（敬称略）

後援

厚生労働省、日本角膜学会、（一社）日本再生医療学会、（一社）日本抗加齢医学会、（公社）東京都眼科医会
東京麻布ライオンズクラブ、（公財）日本テレビ小鳩文化事業団、東京視覚障害者ランニングクラブ、（福）日本点字図書館
（公社）日本臓器移植ネットワーク

協力

特定非営利活動法人 日本ブラインドマラソン協会、児童劇団「大きな夢」、日本両棲類研究所、（協）日本俳優連合

～ご参加された方の感想をお聞きました～

患者を救いたいという移植医の気持ちがよく伝わった。（レシピエントより）

同じ立場の人ともしっかりとお話してみたかった。そのようなきっかけが、会の中であるとよい。（ドナーファミリーより）

ドナーファミリーのビデオレターは、感動的で素晴らしい。（レシピエントより）

角膜移植で見えるようになった方々が生き生きとされている姿を目の当たりにして、提供できてよかったと改めて感じた。（ドナーファミリーより）

俳優連合の朗読はさすがプロ、落ち着いたトーンで非常に良かった。（サポーターより）

レシピエントの感謝の気持ちがよく伝わってきた。（移植医より）

～今回のプログラムの中で一番印象に残っているものは？～

企画

様々な立場の方が一つの音楽を奏でるという、移植医療そのものを表すような企画で素晴らしい。

ビデオレター

どんな気持ちで献眼されたのかを知ることができた。

インフォメーション

第28回 ドナーファミリーの集い®

2025年10月26日（日）予定 ※招待制
14:00～16:00予定 会場：KDDIホール

児童劇団「大きな夢」

有明こどもミュージカル
公演サポーター募集



詳しい情報はこちらよりご覧下さい ↑

問合せ先 「ドナーファミリーの集い®」事務局 e-mail : donor.family.day.office@gmail.com

第27回 ドナーファミリーの集い® 開催報告

NEWSLETTER

2024年10月27日（日） 発行 第27回ドナーファミリーの集い® 実行委員会

ご挨拶



東京歯科大学市川総合病院
角膜センター センター長 山口 剛史

今年もドナーファミリーの集い®が大手町KDDIホールで開催されました。角膜移植により日々多くの失明した方が視力と人生を取り戻しています。ここに、角膜を提供して下さった故人とご家族に改めて敬意と感謝を申し上げたいと思います。また、本会をサポートして下さったライオンズクラブ、企業、個人、医療関係者に深謝申し上げます。今年のドナーファミリーの集い®は、原点に立ち返り、ドナーファミリー・レシピエント・医療従事者・サポーターをつなぐというコンセプトで、ドナーファミリーやレシピエントからのお手紙の朗読、児童劇団「大きな夢」の合唱、ドナーファミリー、レシピエント、医療従事者での楽器演奏がされました。ドナーファミリーの方の献眼をした後の気持ち、レシピエントの視力・光を取り戻す喜びが表現され、角膜移植に携わるひとりとして、改めてアイバンク活動を推進していきたいと感じました。



参加者ファミリー

ここで、わが国のアイバンク・角膜移植を取り巻く環境について、考えたいと思います。先月、インドネシアのジャカルタで開催された、第1回世界アイバンクシンポジウムに出席してきました。角膜移植は医学と手術技術の向上で予後が大きく改善しました。しかし、今なお世界での角膜失明、約1200万人に対して角膜移植件数は年間約20万件に過ぎず、多くの患者さん

が角膜提供を待機している状況が続いています。世界では、アイバンクに関わる眼科医、経営者、コーディネーターが丸となり、アイバンクの発展にむけて努力しています。特にアジア諸国は、この10年アイバンク関連の諸問題の解決にむけて取り組み、自国での献眼数を伸ばしていました。共通するキーワードは①若手眼科医のアイバンク人材の育成、②国際交流を通じた世界基準を学ぶ姿勢、そしてなにより③献眼したい意思の尊重できる社会システムの構築、でした。

日本でも、世界各国のように献眼の意思確認が十分に行われたら、角膜を待機する期間が短くなり、失明のまま諦める患者さんも減ると思います。今後の我が国における健全な角膜診療と人材育成には、アイバンクの発展が欠かせないと思います。海外の状況を学び、日本の状況を鑑みて見えてくる問題点もあります。アイバンクに関わる先生方、コーディネーターがお互いを尊重し合う関係性の中で、みんなで勉強しながらアイバンクの諸問題を解決し、発展にむけて努めていけたらと強く願っています。



参加者ファミリー

共同開催 東京歯科大学市川総合病院 角膜センター・アイバンク、（一財）視覚健康財団・アイバンク
協力バンク （公財）静岡県アイバンク、（公財）山形県アイバンク、（公財）福井県アイバンク、（公財）兵庫アイバンク
京都府立医大アイバンク、東京大学医学部附属病院 組織バンク、北里大学病院 骨バンク
（一社）日本スキンバンクネットワーク



司会：木幡 美子様
(株)フジテレビジョン

プログラム

- ・開会の辞・黙祷
- ・来賓のご挨拶
- ・こえ
お手紙の朗読
移植医から
- ～歓談～
- ・企画
ありがとう♪音楽による
「つながりの環」
- ・サポーターのご挨拶
- ・閉会の辞



日本俳優連合
池水 通洋様 多岐川 まり子様

第27回目ドナーファミリーの集い®は、ドナーの皆様へ捧げる黙祷から始まりました。来賓のご挨拶の後、「こえ」のコーナーでは角膜提供を決意されたドナーファミリー、そして移植をお受けになられた患者様からのお手紙を日本俳優連合の朗読で紹介しました。ドナーのご家族が故人を今でも大切に想うお気持ち、移植患者様が光を取り戻し、ドナーの方への感謝で溢れるお気持ち、それぞれのお立場での想いをスクリーンに映しだされたお写真と共に会場の皆様と共有いたしました。

東京歯科大学市川総合病院の白根茉莉子先生からは、移植医としての立場でお話いただきました。献眼を決断されたドナーのご家族に対する敬意と移植手術後に視力を回復され、明るい表情で外来に来られる患者さんのお姿がとても印象的であったエピソードがご紹介されました。



東京歯科大学市川総合病院
病院長 西田 次郎



厚生労働省 健康・生活衛生局
難病対策課 移植医療対策推進室
室長補佐 細川 亜希子様



(一社)東京地区ライオンズ
地区ガバナー 森 亮介様



東京歯科大学市川総合病院
眼科 白根 茉莉子



(一財)視覚健康財団
代表理事 島崎 潤

東京麻布ライオンズクラブ
会長 兵藤 ゆうこ様

歓談の後の企画のコーナーは、児童劇団「大きな夢」の22名の合唱で開始されました。児童劇団の子供達が会の進行を行い、ドナーファミリーのビデオレターの上映、続いて「ありがとう」をテーマにした催し物がありました。子供達の澄んだ歌声と生演奏ならではの楽器の音色は、会場を温かな空気に包みこみました。

目の愛護デーにちなんで始まった本会ですが、今年も改めてドナーファミリーへの敬意と移植医療の大切さを痛感した一日を過ごすことができました。

展示コーナー

会場入口ホワイエにて、日本臓器移植ネットワーク、協力アイバンクや組織バンクの啓発リーフレット、ポスター、グッズの展示を行い、ドナーとレシピエントの架け橋となる様々なバンクが各地で活動している様子をお知らせする機会となりました。



ありがとう♪♪～「音楽によるつながりの環」^わ

今年のドナーファミリーの集い®の企画は、ドナー・ドナーファミリーへ、ありがとう♪を音楽でお届けしました。

児童劇団「大きな夢」によるドナーファミリーが作詞された「僕の心もありがとう」の合唱、角膜提供をご決断されたドナーファミリーのビデオメッセージ、角膜という「光のボタン」を受け取ったレシピエントとサポーターによる「You Raise Me Up」のピアノ生演奏に合わせた創作ダンス、最後に「光のボタン」をつないだ仲間によるスペシャルアンサンブルの演奏で会場の皆様と「千の風になって」を大合唱しました。

児童劇団「大きな夢」

♪ 僕の心もありがとう



ドナーファミリー

♪ ビデオレター



レシピエント

♪ You Raise Me Up 他



スペシャルアンサンブル

♪ 千の風になって



当日の会場では、それぞれのお立場の方々が、それぞれの想いの中で、集いのひとときをお過ごしになりました。「千の風になって」の合奏&合唱では、会場みんなが1つになり、音楽にのせて、ドナー、ドナーファミリーに「ありがとう♪」をお伝えすることができました。

お土産

健康食品2種(株わかさ生活)、飲料(コカ・コーラボトラーズジャパン株)、そして児童劇団「大きな夢」のパンフレットをお土産としました。また、レシピエントが手作りされたティッシュケースとビーズストラップを一部来場者にお渡ししました。

